

吉良中学校

新黄金時代の創造

— 地域の学習財を活用した学びの推進 —

- (1) 吉良や西尾に関わるヒト、コト、モノを学習財として、地域の魅力を理解したり、課題と向き合ったりする学びを位置づけることにより、実社会とつながる学びを創出し、主体的に探究する生徒を育成する。
- (2) 吉良中創立 60 周年、新校舎改築という節目の年に、歴代の卒業生や地域の方と交流する機会を多く設定することで、受け継がれてきた伝統や思いを知り、地域の一員としての自覚を高め、未来を創る力を養う。

1 実際の活動

(1) 地域に生きる学びの推進

- ・消防団等と連携し、生活拠点である地域を防災・安全教育の視点から見つめ直す活動を取り入れることにより、「自助」や「共助」の在り方を学び、生き抜く力の基礎を養う。
- ・地域のボランティア活動を推奨し、保護者や地域の方と触れ合う機会を設けることで、地域の一員としての自覚を養う。



(2) 共に生きる学びの創造

- ・生誕 100 周年を迎える「茨木のり子」について、関係団体と連携しながら作品を教材化した国語科等の実践を行う。生徒の地域に対する誇りを高め、自分自身の成長に結びつけ、未来を切り拓く力を養う。
- ・吉良の「饗庭塩」について、関係団体と交流し、授業で取り上げたりすることで、地域振興の在り方を考える。



(3) 共に伸びる学びの充実

- ・現校舎で学ぶ最後の生徒として、卒業生と共に旧校舎ありがとうコンサートを企画するとともに、今年度創立 60 周年を迎える吉良中の歩みを振り返るパネルを制作し、学校に誇りをもち、地域と共に歩む生徒を育成する。
- ・吉良中の「はそり」を活用して、地域の方を招いた炊き出しを行うことで、自ら行動に移し、地域を支える力を養う。



2 主な取り組み

- 5月 : 防災ワークショップ地域体験学習
- 6月 : 「茨木のり子」を取り上げた授業、作品展示
- 7月 : 地域ボランティア活動「1000 人クリーン作戦」
- 12月 : 防災学習「炊き出し」体験
- 1月 : 「饗庭塩」を取り上げた授業
- 3月 : 旧校舎ありがとうコンサートの開催

